

つなげ隊 アイデアを企画するために ～「6W2Hのフレームワーク」を埋めてみる

## 企画「SIAFコンシェルジュ見習いとSIAF蔵の気ままな巡礼」

Why	なぜ	目的・ねらい	SIAF2017とボランティア、ボランティア同士をつなぐこと	SIAF2017の認知度アップ SIAF2017の情報提供と情報収集 SIAF2017・ボランティアと市民をつなぐこと	☞ ここが重要そうです！！
Who	誰が	担当者	<b>「何かやり隊 つなげ隊」メンバー</b> ①学生チーム（主な担当／学生ボランティアの増員） ②経済界チーム（主な担当／SIAF2020以降を見越した経済会への働きかけ） ③取材チーム（主な担当／ボランティア活動取材して情報収集）		☞ これは決定！！（仲間を増やす必要はありそう…？）
What	何を	内容	◎情報の発信（ボランティアへの取材） ◎人をつなぐ（ボランティア同士のイベントの企画）	◎情報の収集（巡礼） ◎人をつなぐ（ボランティア同士のイベント企画、企業・大学などへの企画提案）	☞ ここが重要そうです！！
Where	どこで	場所・会場・エリア	SIAF2017の各会場、ブログ	SIAF2017の各会場、大通公園ほか札幌の主なスポット	☞ アイデアは出ていたので、内容にふさわしい場所を選ぶだけ！
When	いつ	タイミング・期間・頻度・スケジュール	会期中、随時 ※要検討		☞ 前回までにこの話はありませんでした…
Whom	誰に、誰と	ターゲット	<b>ボランティア (SIAFを知っている)</b>	<b>SIAFを知らない人たち (ボランティア活動に興味のある市民)</b>	☞ 前回、決定しました！！
How	どのように	方法・手段	「取材」という方法で、ボランティアの「思い」や「体験」を伝える	「巡礼」という方法で、市民への「PR」と市民からの「情報収集」を担う	☞ 前回までにこのアイデアはいっぱい出ていました。
How much	いくら	予算	ほぼ 0 円	1,000円 ～ 50,000 円 (SIAF蔵、御朱印、SIAF情報帳の材料・制作費)	☞ どのくらいのお金が必要か考えてみましょう。